

【学校教育目標】 **自我作古**
 ～今までの自分を大事にしなが、新しい自分をつくるために物事に挑戦する～
やさしく、かしこく、たくましく、かいっぱい生き抜く児童の育成

かしこい子
(伸びる知)

やさしい子
(伸びる心)

たくましい子
(伸びる体)

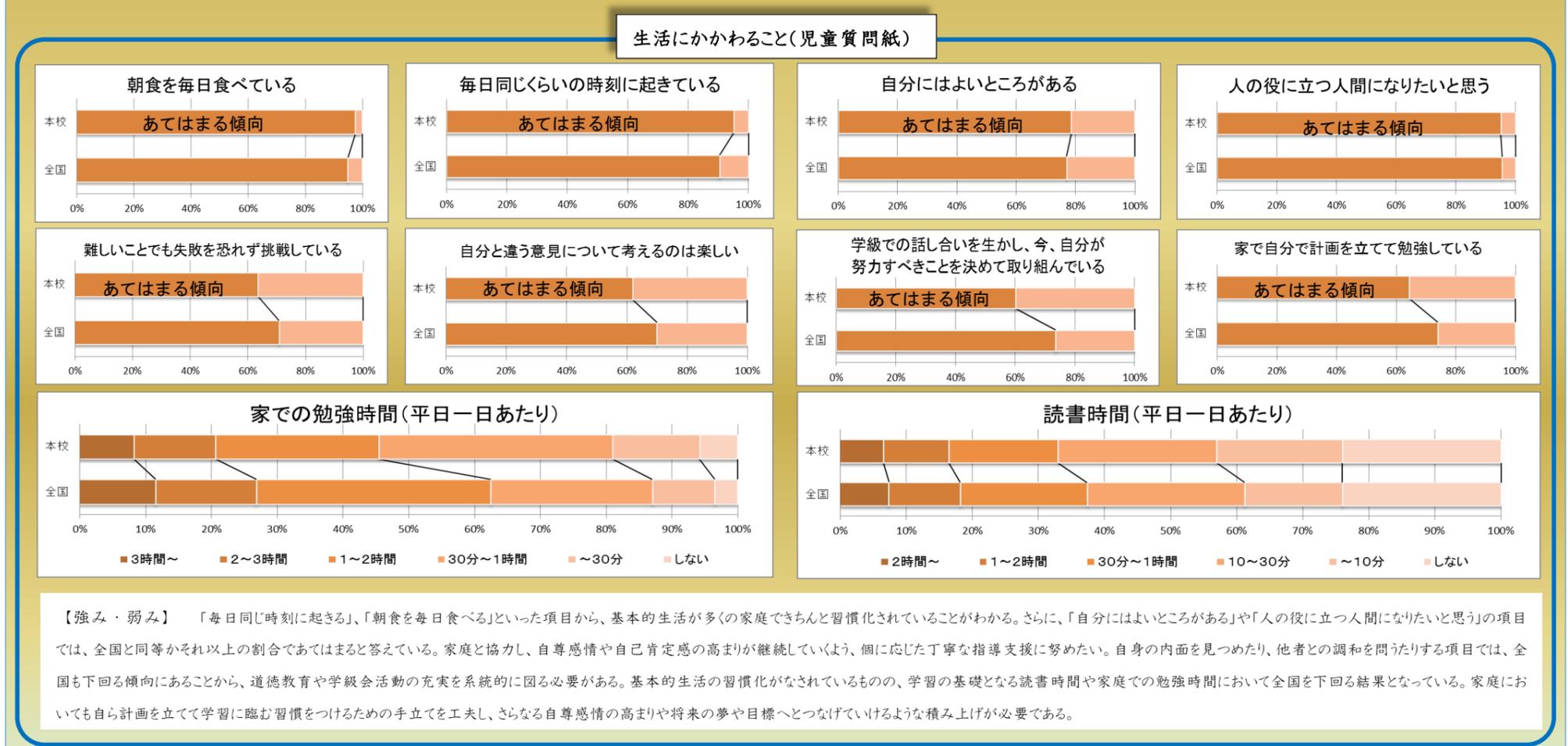
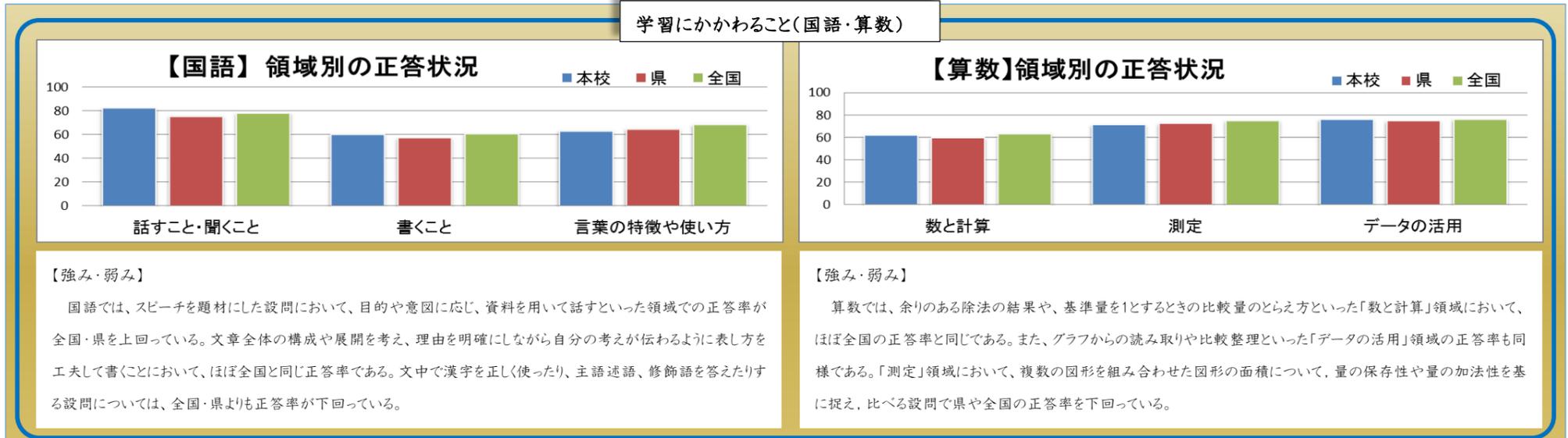
- 【本校の目指す教育】**
- **基礎基本の習得と基本的生活習慣の確立**
 保護者と連携し、生活習慣や学習習慣の確立を目指す
 - **協働的な学びの推進と授業力の向上**
 研究や研修を充実させ、学力向上に向け授業改善を図る
 - **道徳科学習の充実と特活・総合の実践による生活づくり**
 自尊感情と自主的な実践力を育成する
 - **組織として機能する体制の確立**
 学年学級と生徒指導・特別支援教育・教育相談の連携を強める
 - **育ちと学びを支える連携の強化**
 保幼小接続カリキュラムの実施
 小中間の出前授業、授業公開
 コミュニティスクールの運営を通じた成果や課題の共有
 - **OJTの推進による人材育成**
 目指す教師像と自己目標を持ち、互いに切磋琢磨する
(3つの約束)
 「気持ちのよいあいさつ」「一生懸命の掃除」「靴そろえ」

【瀬田南小の沿革と校章】





昭和51年、瀬田小学校から分離して創立。校章は瀬田の唐橋の「ぎぼし」と「南」、そして「瀬田川の波」からデザインされた。大津市南部に位置し、学区は瀬田川沿いに広がっている。瀬田の唐橋をはじめ、古くからの文化財や旧跡も多く、シジミ漁の町としても有名である。令和3年で開校46年目を迎え、児童数は746名となっている。(令和3年9月1日現在)



全国学力調査（2021年5月27日 6年生を対象に実施）

- 【調査結果から考える重点取組事項】**
- | | |
|--|---|
| <p>〈学校での授業改善〉</p> <p>〈家庭での意識改善〉</p> <p>〈学校・家庭・地域の連携〉</p> | <p>① 自ら進んで学ぶ意欲を支援するICT機器の活用と学習環境づくり</p> <p>② 書くことに重点を置き、言語力や文章構成力の育成を意識した学習指導の展開</p> <p>③ 既習の基礎基本事項(きまりや公式)の定期的な確認</p> <p>④ 道徳や学級会を中心とした話し合い活動の積み上げ</p> <p>学習の習慣化（宿題に取り組む＋自主学習による復習・予習）</p> <p>学習時間の目安(低学年:20分 中学年:40分 高学年:60分)</p> <p>読書活動の推進(図書室や学級文庫の充実、電子図書館などの積極的な利用)</p> <p>読み聞かせや学習支援など、積極的な出前ボランティア参画</p> |
|--|---|